

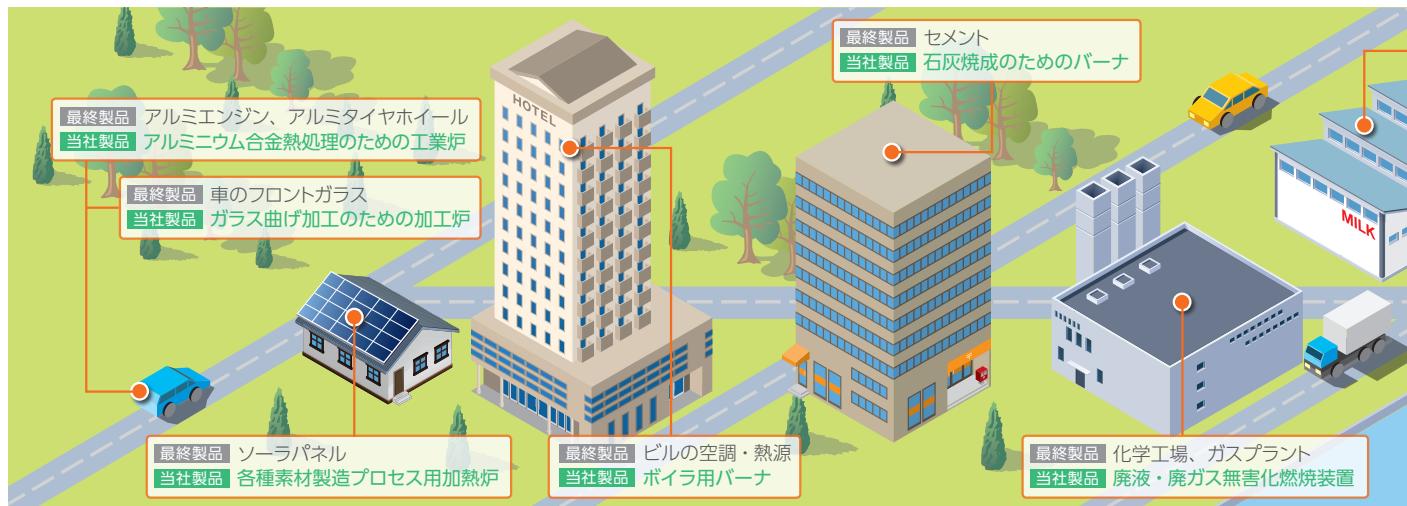
# 第72期 株主通信

平成25年4月1日 ▶ 平成26年3月31日

 **NFKホールディングス**  
NFK Holdings Co.,Ltd.

証券コード：6494

# NFK At A Glance | ひと目でわかるNFK



1950年の創業以来、私たちは燃焼機器関連事業を柱に、常に時代の先端をリードする技術開発に努めてまいりました。そして業界に確固たる地位を築きました。私たちは今、地球環境保護を最重要テーマとする省エネルギーや低環境負荷に貢献する製品やサービスの開発・販売を手掛けることで、新しい未来の扉を開こうとしています。

## プラントエンジニアリング事業

Plant Engineering

- 産業機械関連 主な販売先  
セメント関連企業  
石油化学関連企業
- 石油関連
- 環境関連



ロータリーキルン燃焼状態



空気加熱炉



廃液・廃ガス燃焼装置

## 燃焼機事業

Combustion Equipment

- 金属加熱関連 主な販売先  
大手ボイラメーカー  
鉄鋼関連企業  
窯業関連企業
- ボイラ関連



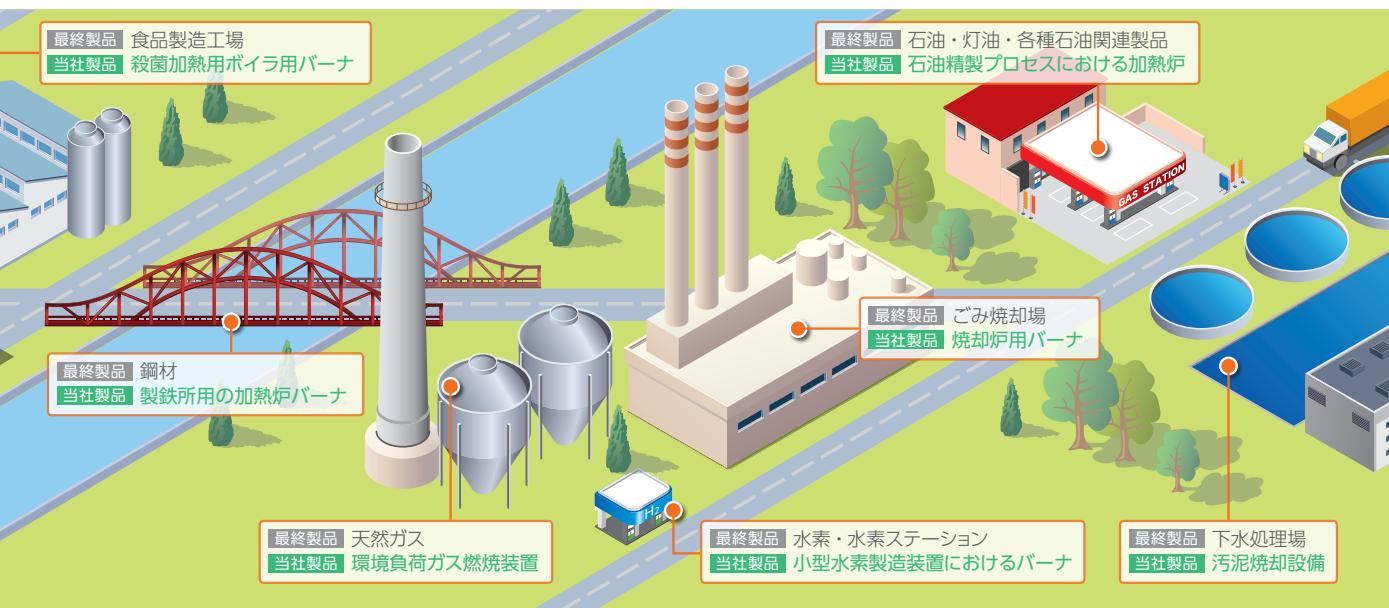
ULN型低NOxバーナ



ガラス熱交換器



連続焼鈍設備用HRSRTバーナ



## 工業炉事業

Industrial Furnace

- 自動車関連
- 金属加工炉関連

主な販売先

大手自動車メーカー  
金属加工関連企業  
熱処理関連企業



2階建AL鋳物T6熱処理炉



多目的合金鋼バッチ炉



バスケットレス多段回転炉

## 当社の強み | Our Strengths

- ① 卓越した技術力
- ② カスタムメイド
- ③ 長年にわたり培った製品信用力
- ④ 優良な顧客基盤
- ⑤ ファブレスで柔軟な経営

株式会社NFKホールディングスは、最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と循環型社会の実現に貢献するとともに、株主の皆様は勿論、企業を支えるお客様や取引先、社員、地域社会等の全てのステークホルダーの繁栄を目指して事業活動を行ってまいります。

決算総括 | Executive Summary

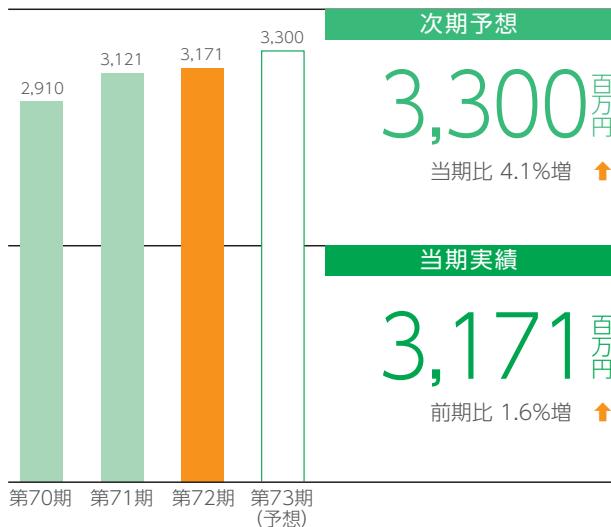
- 3期連続の当期純利益計上で安定した黒字化の実現
- 安定した黒字化による株主還元の継続

Point 1 大型案件の継続的な受注

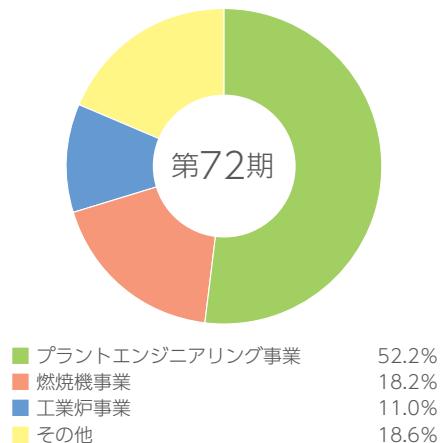
Point 2 海外売上高の大幅な増加

売上高

(単位：百万円)



事業別売上高構成比



当冊子より詳しい決算情報などは当社IRサイトでご覧いただけます。

<http://www.nfk-hd.co.jp/ir/> または

NFK IR

検索

## 営業利益

(単位：百万円)

次期予想

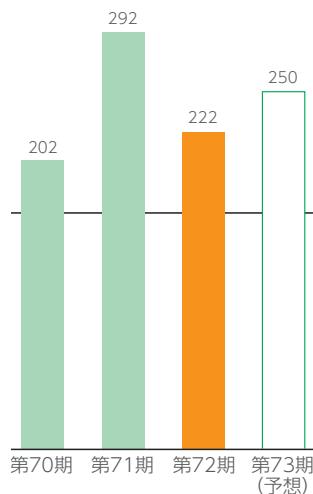
250 百万円

当期比 12.3%増 ↑

当期実績

222 百万円

前期比 24.0%減 ↓



## 経常利益

(単位：百万円)

次期予想

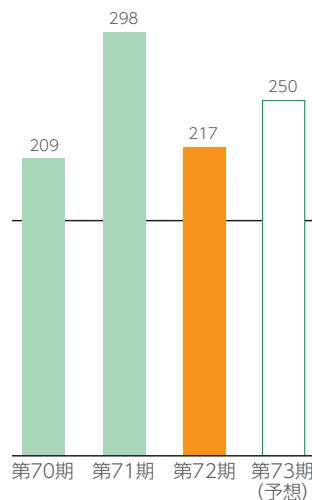
250 百万円

当期比 14.9%増 ↑

当期実績

217 百万円

前期比 27.1%減 ↓



## 当期純利益

(単位：百万円)

次期予想

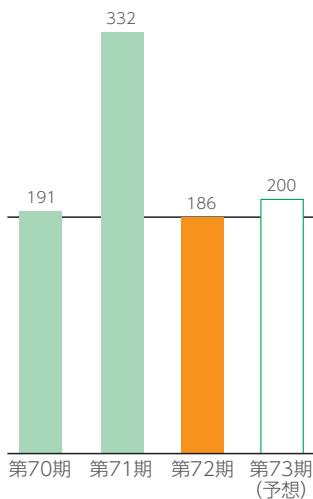
200 百万円

当期比 7.1%増 ↑

当期実績

186 百万円

前期比 43.8%減 ↓



## 1株当たり当期純利益

(単位：円)

次期予想

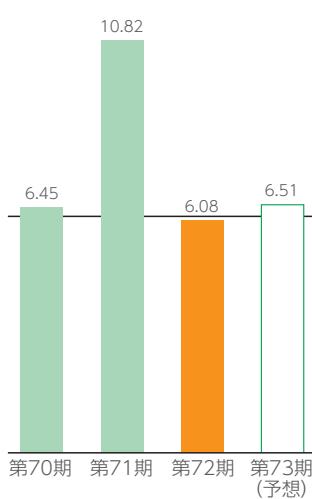
6.51 円

当期比 7.1%増 ↑

当期実績

6.08 円

前期比 43.8%減 ↓



## 3期連続黒字を達成 成長を重ね、安定した経営基盤確立を目指す。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第72期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の営業概況と主要項目につきましてご報告申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長 関口 陽介



### 当期の経営環境と連結業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による大規模な金融緩和政策などを背景に、円高の是正・株価の上昇が継続する中、個人消費や企業の輸出・生産動向等に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、消費税増税による消費低迷への懸念や新興国経済の減速等の世界経済下振れ懸念、原材料価格の上昇など、景気下振れリスクは依然として存在しており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、前連結会計年度に受注した海外向けの大型加熱炉の受注に続き、マレーシ

ア向け大型インシネレータの受注獲得など海外向け案件は順調に推移したものの、国内向けの受注については依然として低水準に止まっており、非常に厳しい環境下での事業運営を迫られることとなりました。

このような状況の中、当社グループでは、平成23年8月に策定した「13中期経営計画」に基づき国内外既存顧客への対応の強化、低燃費・低環境負荷を実現する戦略的商品の集中的拡販、新興国への積極的な営業活動を展開して受注の確保に努めるなどの様々な施策を実行してまいりました。これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高31億7千1百万円（前年比1.6%増）、営業利益2億2千2百万円（前年比24.0%減）、経常利益2億1千7百万円（前年比27.1%減）、当期純利益

1億8千6百万円（前年比43.8%減）となっております。

## 次期の見通しについて

我が国経済の先行きにつきましては、政府の経済対策並びに金融政策の効果等により、引き続き国内景気の回復が期待される一方で、消費税増税による影響や、世界経済の動向などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な厳しい状況が続くものと考えられます。

このような中、当社グループは、平成26年4月に平成29年3月期（2016年度）を最終年度とする「16中期経営計画」を策定しスタートいたしました。「燃烧装置関連事業の海外展開強化」、「市場ニーズに対応した

新商品の開発」、「安定配当の実現」、「コンプライアンス及びコーポレート・ガバナンス重視の徹底」の4つの経営基本方針の具現化に向け、全社を挙げて取り組んでまいり所存です。以上によりまして、次期の通期連結業績予想につきましては、売上高33億円、営業利益は2億5千万円、経常利益は2億5千万円、当期純利益は2億円を見込んでおります。

## 利益還元方針と配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を充実させていくことを経営の最重要課題の一つに位置づけ、安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な財

## 16中期経営計画

### 経営基本方針

- ① 燃烧装置関連事業の海外展開強化
- ② 市場ニーズに対応した新商品の開発
- ③ 安定配当の実現
- ④ コンプライアンス及びコーポレート・ガバナンス重視の徹底

① 海外売上比率 50%へ

② 新技術・新商品の創出

③ 国内基盤固め

④ トータル原価の削減

持続的成長を目指す

務基盤を構築すべく株主資本の充実を図りながら、収益動向とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本方針としております。

当連結会計年度の配当につきましては、上記方針に基づき、財務状況並びに業績などを総合的に勘案し、1株当たり1円の期末配当を実施することといたしました。

また、次期の配当につきましても、期末配当1円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 研究開発 | 日本ファーンズ燃焼技術研究所が本格稼働を開始

宮崎県西都市のオリンピア工業株式会社西都工場敷地内に設立した日本ファーンズ燃焼技術研究所が本格稼働を開始いたしました。

各種大型バーナを対象にした燃焼試験システム(燃焼試験装置+測定機器+解析システム)を設置しており、「技術のNFK」の再確立に向けて取り組んでまいります。

石油加熱炉用超低NOxバーナの開発やオイルコークス専焼バーナの開発など、経営計画に連動した戦略的かつ最新鋭の燃焼機器を迅速かつコストミニマムに開発してまいります。



■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成26年3月31日現在	前連結会計年度 平成25年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,548	3,092
固定資産	1,074	980
有形固定資産	884	820
無形固定資産	7	4
投資その他の資産	182	156
資産合計	4,623	4,073
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,138	752
固定負債	455	464
負債合計	1,594	1,217
<b>純資産の部</b>		
株主資本	2,593	2,437
資本金	2,131	2,131
資本剰余金	40	40
利益剰余金	422	266
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	435	418
純資産合計	3,029	2,856
負債純資産合計	4,623	4,073

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	前連結会計年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 35	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 66	59
財務活動によるキャッシュ・フロー	304	△ 18
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	202	235
現金及び現金同等物の期首残高	1,561	1,325
現金及び現金同等物の期末残高	1,764	1,561

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	前連結会計年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高	3,171	3,121
売上原価	2,278	2,220
売上総利益	892	901
販売費及び一般管理費	669	608
営業利益	222	292
営業外収益	6	7
営業外費用	12	1
経常利益	217	298
特別利益	4	20
特別損失	0	7
税金等調整前当期純利益	222	311
法人税等	35	△ 20
少数株主損益調整前当期純利益	186	332
当期純利益	186	332

■ 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	前連結会計年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	186	332
その他の包括利益	17	△ 0
その他有価証券評価差額金	17	△ 0
包括利益	203	331
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	203	331
少数株主に係る包括利益	—	—

## 会社概要

社名	株式会社NFKホールディングス
設立	昭和25年(1950年)4月12日
資本金	21億31百万円
従業員数	92名(連結)
事業内容	持株会社(工業炉燃焼装置関連事業)
事業所	神奈川県横浜市鶴見区尻手二丁目1番53号
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ(コード番号:6494)

## 連結子会社

### ● 日本ファーンエス株式会社

所在地	資本金	議決権比率
横浜市鶴見区	100百万円	100%

### ● 株式会社ファーンエスES

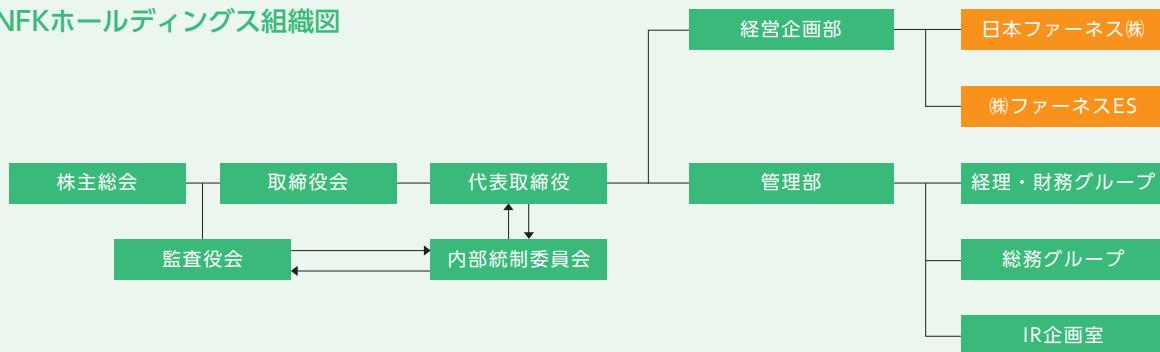
所在地	資本金	議決権比率
横浜市鶴見区	20百万円	100%

## 役員

役職	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	関口 陽介	日本ファーンエス株式会社 代表取締役社長
取締役	戸羽 光二	
取締役	古池 政巳	
取締役	田端 雅和	株式会社スコラ・コンサルト 非常勤監査役 株式会社エーザークロップ 代表取締役社長
取締役 ※	清見 義明	
取締役 ※	宮原 英輔	オリンピア工業株式会社 代表取締役社長 九州オリンピア工業株式会社 代表取締役社長
監査役	岡崎 稔	日本ファーンエス株式会社監査役
監査役 ※	笹原 信輔	一橋総合法律事務所 パートナー弁護士
監査役 ※	辻 高史	あすなる監査法人代表社員

(注) ※印の役員は社外取締役及び社外監査役であります。

## (株)NFKホールディングス組織図



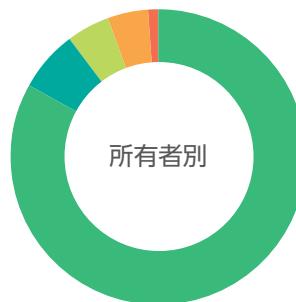
## 株式の状況

発行可能株式総数	118,610,000株
発行済株式総数	30,713,342株
株主数	8,200名

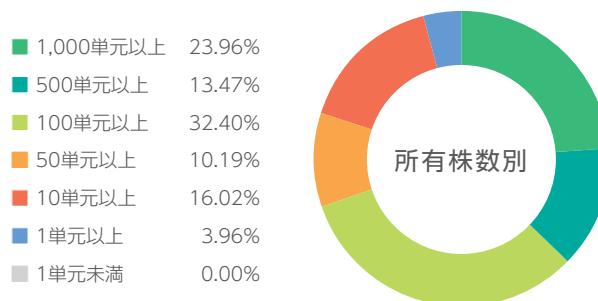
## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本証券金融株式会社	1,384,100	4.51
オリンピック工業株式会社	1,060,000	3.45
松井証券株式会社	495,500	1.61
渡邊 新一	320,000	1.04
尾上 公彦	320,000	1.04
竹内 祥晃	290,000	0.94
株式会社SBI証券	258,000	0.84
株式会社川畑商店	248,800	0.81
NFKグループ従業員持株会	237,600	0.77
滝川 好夫	230,600	0.75

## 所有者別・所有株数別分布状況



個人・その他	83.15%
その他国内法人	6.60%
証券会社	4.78%
金融機関	4.51%
外国人	0.96%
自己株式	0.00%



1,000単元以上	23.96%
500単元以上	13.47%
100単元以上	32.40%
50単元以上	10.19%
10単元以上	16.02%
1単元以上	3.96%
1単元未満	0.00%

## IR NEWS

## 東証IRフェスタ2014に出展いたしました

個人投資家と上場企業との価値あるコミュニケーションの機会の場合として、東京証券取引所主催の「東証IRフェスタ2014」が開催され、当社も出展いたしました。

本イベントでは、企業ブースを出展したほか、会社説明会を実施し、多くの個人投資家の皆様にご参加いただきました。

**開催日時** 2014年2月21日(金)～22日(土)

**開催場所** 東京国際フォーラム



会社説明会の資料につきましては、右記URLにてご覧いただけます。[http://www.nfk-hd.co.jp/ir/data/pdf/2014/fiesta\\_140224.pdf](http://www.nfk-hd.co.jp/ir/data/pdf/2014/fiesta_140224.pdf)

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日

○ 定時株主総会 毎年3月31日

○ 中間配当 毎年9月30日

○ 期末剰余金配当 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(電話参照先) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
全国各支店で行っております。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告  
による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に  
掲載いたします。

公告掲載URL (<http://www.nfk-hd.co.jp>)

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

 株式会社NFKホールディングス

<http://www.nfk-hd.co.jp>

 UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された  
森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油  
インキを使用しています。

## ホームページのご案内

NFKホールディングス HP



<http://www.nfk-hd.co.jp>

日本ファーンネス HP



<http://www.furnace.co.jp/>